

議長定例記者会見（R1.6.28）

（報告）

お忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。

それではまず初めに、6月定例会採決結果について報告をいたします。

知事提出議案40件のうち、議案24件を可決・同意し、報告のみが16件ありました。

議員発議案につきましては、提出された2件のうち、1件が可決となり、1件が否決となりました。

議員派遣につきましては、国内派遣2件が可決されました。

次に、今月17日、「令和2年度重点施策に係る提案活動」を、県議会及び執行部・市長会・町村会合同で行いました。

その内容は、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」、さらにそのアクションプランでございます「まち・ひと・しごと創生青森県総合戦略」に基づき、今後の人口減少社会を乗り越え、更なる成長を続けていくための取組を円滑に推進するために、令和2年度の国の予算編成及び施策立案において、全国的な制度改正や社会資本の整備、地方財政対策の充実など、検討してもらいたい事項として、新規事項の3件を含め全部で21件を提案したものであります。

要望先といたしましては、内閣官房をはじめ関係省庁等あわせて9カ所となりました。

私からは以上でございます。

(質 問)

○ 記 者

改めてになるかと思いますが、「航空自衛隊三沢基地所属の航空機による事故の再発防止を求める意見書」については、どういう思いで出されたということでしょうか。

○ 森内議長

今後事故のないようにという思いの意見だったと思います。

住民の安全・安心を守るためには我々も意見書を出すことが必要だという意見で合致したということです。

○ 記 者

今後の県議会としての対応としては、どのようになりますか。

○ 森内議長

県議会としての対応というよりも、やはり当該地域、三沢市、三沢市議会、そしてまた、県の方での許可というものも必要になりますので、議員たちの思いというものを出したと私は理解しております。

○ 記者

やはり、地元の住民の感情というところはお考えですか。

○ 森内議長

それは、地元の人たちには事故はあってはならないという気持ちは最大限あると思います。

○ 記者

議会としては、それを監視する役割というか、今後も注視していくということによろしいのでしょうか。

○ 森内議長

それはそうですね。青森県で行われるということで、三沢といっても青森県内ですから、我々もやはり事故防止、そしてまた再発防止、そういった形で取り組んでいただきたいという思いはあります。

○ 記者

今日、議会改革検討委員会が設置されたということで、これについての期待や思いをお聞かせください。

○ 森内議長

報道関係の皆さんが一様におっしゃられております、選挙区割りなどですね、それから飛び地の解消、そういったもの等々を今後話し合いされるのではないかと考えています。議会改革検討委員会の皆さんで話し合って、そして議長あてに報告が来ると考えておりますが、皆さんが出席された各会派代表者会議でもいろいろな意見が

出されておりますので、議会改革委員会の検討項目であるものに対しては議会改革検討委員会で話し合うと思っております。その他議運でやることは議会運営委員会で話し合うことになると思っております。

○ 記者

議会改革検討委員会の方で、今後、話し合いが進められると思いますが、どのように改革に向けての主体的な取組を期待していますか。

○ 森内議長

それは今日委員長も決まりましたので、委員長が委員の皆さんといろいろな協議をしながら進めていくのではないかと思います。

ですから、こちらの方で願いというよりも、今までとどまっていた部分は推し進めていただきたいという思いです。

一つ一つについては、今日委嘱しましたので、委嘱されました委員等で決めていただきたいという気持ちです。

○ 記者

森内議長、議長になられて初めての定例会ということで、終わられて感想はいかがですか。

○ 森内議長

私、副議長もやらせていただいていますので、新鮮な気持ちという感じはちょっとなかったと思います。

逆に、櫛引副議長は大変緊張されたのではないかと思います。自分自身で点数を付けると、私は50点ですね。

副議長を見ていると80点ぐらいいくのではないかと
思っています。これからいろんな問題等々出てくると
思いますので、スムーズな運営を心がけて頑張り
たいと思います。

○ 記者

県議選改選後の新しいメンバーで臨んだ定例会
であったわけですが、議会の雰囲気はいかが
ですか。

○ 森内議長

やっぱり違うなと思いますね。今回、新人の方
は3人ご登壇されましたけれども、それぞれ市
議会、町議会を経てきた方たちも質問されて
おりますし、県議会で初めて登壇されて質
問したという方もおりますので、そういった
方々のお話を聞いて、今までとはちょっと違
うかなと思います。その人たちもだんだん慣
れてくるのかなと思います。年齢はさておき
、リフレッシュさせているのかなというイメ
ージがありました。

○ 記者

先ほど、50点とおっしゃいましたけど、そ
この理由をもう少し詳しく教えていただけ
ますか。

○ 森内議長

よくも悪くもないということです。

○ 記者

何か、もう少し次はこうしようというの
はあるのですか。

○ 森内議長

あります。それは私の心に秘めておきたいと思います。

○ 記者

副議長にも感想を伺って大丈夫でしょうか。

○ 森内議長

私からお話しをさせていただきます。私はテレビで見せていませんけれども、すごく堂々とされてよかったと思います。これから壁にぶち当たると思いますので、そこは副議長と私と話をしながらスムーズな運営をしていけるように勉強していきたいと思っています。

以上です。